

檜洞丸(ひのきぼらまる)道迷い(2020年11月)

ピークハント後の同ルートの下山。所々不明瞭な箇所や霧もあり、道が分かりにくく、下りで道迷い。途中で道がなくなり、GPSで確認し現在位置を把握し元のルートに戻った。



解説

ピークハントで同ルートを下山する場合でも、濃霧等の気象条件によっては、道迷いの発生リスクも増加します。また、所々道が分かりづらい箇所もあったようで、更に、下山では多くの道迷いが発生する確率も上がります。

今回の道迷いの要因は、

- ①濃霧という気象条件
- ②下り道
- ③正しい道は急に曲がっている。
- ④油断(本人談)

というものでした。なお、GPSで道迷いを自覚してからも「そのまま下ってって復帰しようと試みたが、復帰する側には崩落斜面も・・・」ということで、道迷いを自覚してからもしばらく時間を費やしているようです。結果、登り返されたようです。